



問 本物のインクルーシブ教育とは
タコスキッド 議員



録画映像はこちら

Q 平成31年3月定例会で市長は「ともに学ぶ」インクルーシブ教育の実現を目指す」と述べている。他方、文部科学省は、個別的教育的ニーズにその時点での確に定める柔軟な仕組みが重要とし、分離教育を主軸に考えている。市の見解について3点伺う。

A ①学校では、障がいのある子ども、ない子どもが可能な限り共に学ぶことを追求するとともに、一人一人のニーズに

①分離教育によって奪われる可能性がある多様な性や人生経験、社会経験と子どもの相互理解について
②本市のインクルーシブ教育の最終形態について
③障がいの有無だけでなく、その他の特性や困難をもつ子どものインクルーシブ教育について

①学校では、障がいのある子ども、ない子どもが可能な限り共に学ぶことを追求するとともに、一人一人のニーズに
②最終的には共生社会の形成を目指す。そのために特別支援教育を推進し、福祉部門とも連携をしています。
③人間の多様性を尊重し、障がいの有無や国籍、性差、経済状況等を問わず共生社会を目指す教育であると考えます。



- 全質問項目**
- ◇インクルーシブ教育について
 - ◇障害者差別解消法の合理的配慮について
 - ◇子ども食堂の太宰府市と筑紫野市の連携について



問 市内の公園にある時計塔の管理を
原田 久美子 議員



録画映像はこちら

Q 梅林アスレチックスポーツ公園にある時計塔には故障中と掲示されていた。市内には、この時計塔のほかにも十数基の時計塔が設置されている。市内の公園や学校施設などに設置されている時計塔の数と場所、設置された年と目的について伺う。また、故障した時計塔の今後の修理計画について伺う。

A 現在、モニユメントや専用ポールに時計が設置されている時計塔は、都市公園22か所、運動公園等6か所と市内小・中学校全校に設置されています。公園では、主に利用者に時間を知らせることと公園のイメージづくりを目的に、学校では記念事業の一貫などで設置されています。設置から30年以上を経過

しているものが多く、経年劣化などによる故障も発生していますので、適時修理を行っています。仕様によっては特注品のための修理部品の調達が難しいことや修理費用などの課題から修理を見合わせている状況です。社会情勢等を踏まえながら、今後も時計塔の在り方についても検討していきます。



梅林アスレチックスポーツ公園の時計塔

- 全質問項目**
- ◇本市の時計塔について
 - ◇特別史跡水城跡について



問 学校教育の課題と方向性は
徳永 洋介 議員



録画映像はこちら

Q 学校教育の課題と方向性について3点伺う。

①水泳授業において、教員の操作ミスによって水道料金が無駄になった場合の対応は。

②部活動の地域移行の課題と方向性は。

③教職員の意識改革、業務改善の推進、部活動の負担軽減、教職員の役割の見直しと専門スタッフの活用等の4つの働き方改革に取り組んでいます。課題として時間外在校時間数が多い職員が一部見受けられますので、学校と連携して調査し、負担軽減に努めていきます。

A ①プール管理について、文科省からの文書では民営プールの活用などが述べられています。なお、本市ではそのような事例はなく、具体的な対応は過失の程度や状況などを勘案し、個別に判断すると考えています。

②受皿となる団体の確保などの課題があります。次期学習指導要領における中学校部活動の位置づけも注視しながら検討していく必要があります。



学校教育の質の維持と向上を図れるように取り組んでいきます。

- 全質問項目**
- ◇本市の学校教育の課題と方向性について



問 安全・安心な通学路の実現にむけて
長谷川 公成 議員

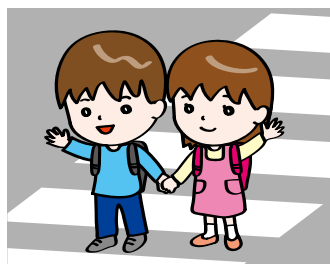


録画映像はこちら

Q 高雄台上り口交差点への横断歩道設置に関して、一刻も早い安全・安心な通学路の実現に向けて、過去に幾度となく質問を行ってきた。その後の警察との協議等、進捗状況について伺う。

A 警察との協議では、交差点付近に歩行者が留まるスペースが十分ではないことや、接続道路の形状から交差点付近の見通しが悪いことによる歩行者の安全確保の課題なども指摘されています。

そこで視点を变えて、車両から横断する歩行者の見通しを確保するために、横断歩道の設置位置を交差点から約40m前後、星ヶ丘保育園側にずらした見通しの利く直線の位置であれば、設置が可能ではないかとの判断に至ったところです。現在、筑紫野警察署及び県警本部との立合協議を受け、図面などの資料を作



- 全質問項目**
- ◇安全・安心な通学路について
 - ◇子育て支援の取組について



問 『日本遺産』認定継続のためにどうすべきか

木村 彰人 議員



録画映像はこちら

Q 日本遺産「古代日本の西の都」の再評価を受けて認定継続に関して3点伺う。

①日本遺産として認定されることの意義は。

②単独認定から広域型に変更認定された理由は。

③再評価の原因と認定継続のための改善策は。

A ①古代大宰府の歴史と地域の特性を多くの方に知ってもらう事業展開を図ることができました。

②大宰府に関する文化財やストーリーは本市域



日本遺産「古代日本の西の都」のポスター

をはるかに越えて広がっており、大宰府的な視点で史跡の維持保存活用や国際交流、地域間連携を図ること、交流人口の拡大による経済効果の向上への努力をしてきたことから、広域型に変更申請し認定されました。

③令和2年6月に広域型になったばかりで、また、新たな代表の福岡県や新規加入自治体では、未対応事項が多く厳しい評価となりました。その後、県が代表

全質問項目

- ◇日本遺産の再評価に見る、近隣市町と連携できない本市の孤立について
- ◇九州市長会有志の勉強会として再始動した「九州府構想」について



問 高齢者と仕事をマッチングする仕組みづくりが必要です

馬場 礼子 議員



録画映像はこちら

Q 高齢者雇用の積極的取組体制の確立に関して5点伺う。

①本市の65歳以上の方の就業率と就業率は。

②シルバー人材センターの現状と本市との連携は。

③ハローワークとの連携は。

④高齢者雇用を積極的に進めるための本市独自の取り組みはあるか。

⑤高齢者が希望する就業先とマッチングする取り組みとして、職業紹介事業や無料職業紹介所を取り入れて、積極的な求人活動を進めるべきと思うが見解は。

A ①令和2年度時点の本市の65歳以上は、2万332人で就業率は20.8%です。

②シルバー人材センターで受託可能なものは、可能な限り同センターに発注するように努めています。

③本市を管轄するハローワーク福岡南と連携し、毎月2回、生活保護受給者などを対象とした就労支援相談会を実施しています。

④福岡県中高校就職支援センターと協力し、昨年度市役所において個別就職相談会を実施しました。

⑤中高年就職支援センター、生涯現役チャレ

全質問項目

- ◇高齢者雇用の積極的取組体制の確立について
- ◇認知症への理解を深めるための取組と認知症カフェ設置に向けた支援について



問 水城橋の安全対策は

神武 綾 議員



録画映像はこちら

Q 県道112号線水城一丁目から下大利団地に抜ける水城橋は、近年交通量が増え、通りづらく危険度が増しており、市民から安全対策の要望が上がっている。そこで2点伺う。

①方策を講じるには交通量調査の結果が必要である。いつ調査を実施し、どのように分析しているのか。

②事故防止のための方策について道路整備計画等を検討しているのか。

A ①直近では平成30年度に調査しています。平日朝7時から夜7時までの12時間、流入交通量は約2,200台、下大利団地から水城橋を経由し水城一丁目交差点へ向かう交通量も、反対方向路線の交通量もほぼ同程度です。



水城橋

っており、引き続き連携を図ります。

全質問項目

- ◇道路整備について
- ◇就学援助について
- ◇農業政策について



問 ワンヘルスを実現するには

入江 寿 議員



録画映像はこちら

Q ワンヘルスの取組の重要性に鑑み、6点伺う。

①本市がワンヘルス推進宣言をして2年が経つ。県との連携や市独自の取組はあるのか。

②市民への周知と市民の理解の深まりは。

③市民の実践活動の評価と支援、その基準や具体例について

④宣言ではワンヘルスの森(福岡県四王寺県民の森)の利用促進に協力する、とあるがその内容と大野城市、宇美町との連携について

⑤太宰府の街並みを一望できる、かつてのような四王寺林道の整備は。

A ①福岡県ワンヘルス推進行動計画の下、保健所と合同で狂犬病予防の集団注射を実施しています。

②市独自で職員による出前講座、生き物の専門家による小学校での授業などを行っています。

③福岡こども短期大学にワンヘルスガーデンが完成しました。県とも連携して支援を行っています。

④県への積極的協力と併せ、隣接市町とも協力して森の環境整備・維持保全事業を展開しています。



FUKUOKA ONE HEALTH
ワンヘルスのロゴマーク

全質問項目

- ◇本市のワンヘルスの取組について

※ワンヘルスとは人と動物の健康、環境の健全性を一つと考え一体的に守ろうという取組です。



問 持続可能な地域公共交通に向けて



録画映像はこちら

Q 地域公共交通の現状と今後の取組について3点伺う。

- ①デマンド交通に対する住民ニーズの特色をどのように把握され、どのような認識を持っているのか。
- ②実証実験の計画期間の設定と計画の進捗管理について
- ③今回の実証実験でどのようなアウトカム評価を考慮し、成果指標を設定するのか。



- ①エリアごとの課題整理やバス利用者のニーズ把握も含めて、どのような方法が望ましいのか検討を重ねています。
- ②事前準備から運行に至るまでの期間は一定の時間を要すると考えています。実証実験以降は、デマンド交通が新たな公共交通体系として地域の利便性の向上に資するかどうか、慎重に見極めていきたいと考えています。
- ③他自治体の個別の状況やさらにエリアごとに異なる状況もありますので、今後の実証実験実施に向けた検討を進める中で、本市にふさわしい指標の設定についても検討してまいります。

全質問項目

- ◆本市の地域公共交通の現状と今後の取組について
- ◆本市の地場産業の醸成について



問 産前産後の切れ目のない支援と拡充を



録画映像はこちら

Q 産前産後の切れ目のない支援の観点から2点伺う。

- ①妊娠期は、う蝕や歯肉炎が進行しやすい。妊婦自身の健康管理と子どもの歯と健康を守る大切さを知るきっかけづくりとして、妊娠期の歯科健康診査事業を取り入れてはどうか。
- ②国の実施要綱では、産後ケア事業の対象者を、心身の不調または育児不安などがある者や支援が必要と認められる者としていたが、昨年、産後ケアを必要とする者と改定された。周知や内容の充実など、見えてきた課題は。

A ①妊娠婦、乳幼児期の心身両面からの健康増進を図る上で母子歯科保健は大きな意義を持つことから、安心して生み育てることができる環境の整備を図るために妊産婦歯科検診の実施に向けて準備を進めていきます。



全質問項目

- ◆産前産後の切れ目のない支援について
- ◆認知症対策への取り組みについて



問 主な公共施設の活用計画は



録画映像はこちら

Q いきいき情報センターに関して伺う。

- ①学習スペース、フリースペースの現状と課題
- ②1階空きスペースの誘致活動
- ③太宰府館に関して伺う。
- ④官民連携による民間活力の導入
- ⑤梅林アスレチックスポーツ公園に関して伺う。
- ⑥芝起こし
- ⑦多目的広場の整備
- ⑧駐車場の確保
- ⑨市外者の利用状況
- ⑩ナイター設備
- ⑪飲食店の営業許可
- ⑫学生の利用割合が多い状況

- ①と考えています。現在3事業者と建物等賃貸借契約を締結しており、その他の空きスペースについては複数の事業者と協議中です。
- ②令和5年度は約21万人とコロナ禍前の水準に回復しています。
- ③観光客の回遊促進や消費拡大を図るべく調査研究に着手し、本年度内に調査結果をまとめ具体的な活用計画の策定を目指します。
- ④日常の管理業務として芝起こし等を行い、経年劣化の部分には計画的な補修を検討しています。
- ⑤トラックのアンツーカー舗装や全天候型への改修等については、助成金の活用など調査研究してまいります。
- ⑥大学の行事のない土日

全質問項目

- ◆主な公共施設の計画について



問 大規模災害発生時の対応は万全か



録画映像はこちら

Q 大規模災害発生時の市の対応について10点伺う。

- ①対応マニュアルの改定
- ②職員の招集
- ③災害情報の収集方法
- ④避難所運営
- ⑤避難生活支援
- ⑥災害広報
- ⑦罹災証明書の発行
- ⑧災害廃棄物の回収
- ⑨ボランティアとのマッチング
- ⑩支援金等の交付

- ①太宰府市地域防災計画を平成26年5月に全面改訂し、併せて災害対策本部マニュアル等を整備しています。
- ②職員への連絡手段がない場合は、参集基準に沿って、自主的に参集することになっていきます。
- ③自治会や自主防災組織、市民からの通報、消防警察の連絡などにより収集します。
- ④発災後、必要と判断した場合避難する建物の安全確認を行いながら開設運営を行います。外国人を含む観光客に対しても情報を的確に提供できる仕組みを構築していきます。
- ⑤物資供給、給水、トイレ支援が必要です。本年度、簡易トイレ、トイレカーの調達に取り組んでいます。
- ⑥SNSや、市のHP、防災メール等を活用し必要な情報を適切に発信していきます。
- ⑦調査班の業務として位置づけていますが、災害の規模によっては他自治体の応援職員など

全質問項目

- ◆大規模災害発生時の対応体制について





問 今こそ令和改元5年を
盛り上げよう

いまいずみ よしふみ
今泉 義文
議員



録画映像はこちら

Q 元号「令和」は、「万葉集」を出典とする、日本人として誇り高い元号である。今年

は令和改元5年を迎え、4月に記念式典も開催されたが、さらに盛り上げる必要があると考え、2点伺う。

①改元5年を盛り上げる関係団体との協議について

②今後のイベントなどの企画について

A ①太宰府万葉会の協力の下、梅花の宴の再現をはじめとする万葉の取り組みを実施しました。今後も連携を深め、「令和」「万葉」の取組を推進します。

②大宰府展示館では「令和改元5年記念展」を開催し、文化ふれあい館では「まるごと太宰府歴史展2024」の中で、「万葉集」と太宰府の紹介を行っています。



令和碑

全質問項目

- ◇元号「令和」を盛り上げる取り組みについて
- ◇公共交通機関の充実について

さらに、11月下旬には、NHK大河ドラマ「光る君へ」とのコラボ企画として、とびうめアリーナで出演者等のトークライブ及び太宰府館においてドラマの企画展示、来年2月には、梅花の宴の再現及び万葉の企画展示を開催する予定です。また、(仮称)令和万葉館の設置について、調査研究を行っているところで

す。



問 路線バス廃止案への
今後の対応は

かさり つよし
笠利 毅
議員



録画映像はこちら

Q 西鉄バス星ヶ丘線、南ヶ丘線の一部区間の令和7年4月廃止が提案された。

昨年の路線分割から一年での廃止は受け入れ難い。存続が危ぶまれる路線の住民のため、あるいは住民と共に市はどのようなことに取り組んできたのか伺う。

また、これからの半年間、市として何ができるのか、何をするのか。

宇美町との間のバス路線の廃止が議論となったとき、補助による路線維持が図られたが、今回財政的な補助の可能性はあるか。

A 本市としては広報だざいふ令和5年9月号での公共交通の厳しい状況と利用促進についての特集記事の掲載に加え、地域公共交通計画の策定に向け鋭意取り組んでいます。

交通事業者に対しても本市の実情を考慮した廃止の取り下げや期間延長をお願いしているところで、路線存続に向け協議を重ねています。

本定例会においては財政的な補助も含め、あらゆる可能性を探る視点からの検討を行い、その一環としてデマンド交通実証実験事業関係費を補正予算として上程しています。



全質問項目

- ◇路線バスの運行(一部区間の路線廃止)について
- ◇総合戦略レビューについて